

R5.2.8(水) 令和5年度 第2回 地域包括ケアシステム推進協議会にて話題提供させて頂きました。

令和5年2月8日水曜日、令和5年度 第2回

5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会にて、

「わたしたち支援者にとって必要なこととは？



～認知症の方々の支援にあたってのポイント～」という全体テーマで、福岡県認知症医療センター室長である精神保健福祉士の江頭が実践報告をさせて頂きました。

江頭からは、「認知症の方々が住み慣れた地域で生きていくためには？いまこそ ONETEAM!!

～日頃の実践から、認知症の方々やそのご家族、支援者の方々の声を通して考える～」という演題で、

①当院紹介、福岡県認知症（疾患）医療センターの取り組み、飯塚記念病院 福岡県認知症医療センターの取り組み、②認知症について、③日頃の実践の中での認知症当事者、ご家族の声を紹介、認知症初期集中支援チームの事例、事前の質問への回答（2つ）、④認知症の方々の支援にあたってのポイント、⑤まとめ～私たちがこれから目指していくこととは？～という内容で話題提供させて頂きました。医療機関の受診の困難さ、精神科病院への転院の思いなどをご質問等頂きました。

江頭以外に、「多機能型居宅介護とは？～認知症の方々をふくむ高齢者が地域で生活していくためには～」という演題で、看護小規模多機能施設

あいおす 管理者の神宮淳子様が登場されました。



当日は、ZOOM 上で60名近くの参加者の方々と学びのひとときを過ごすことができました。

最後になりますが、参加者の皆様を始め、このような機会を頂きました、飯塚医師会 西園会長、

飯塚市立病院 武富管理者兼院長、共立病院の医療ソーシャルワーカー岡松様始め皆様など関係者の方々に感謝いたします。